

## 小松市未来型図書館基本構想策定支援業務プロポーザル審査結果

### 1. 一次審査（書類審査）

参加資格を満たすと判断された事業者が6者以上であったため、企画提案書等による一次審査（書類審査）を行い、評価得点の合計点の高い順に上位5事業者を二次審査の対象として選定した。第2位から第4位は、評価得点の合計点が同点となったため、第1位の順位獲得数の多い順に順位を決定した。

開催日 令和4年5月20日（金）

審査結果 次のとおり

審査項目 (配点)	A社	B社	C社	D社	E社	F社
業務実績・実施体制 (20点×5人)	42.50	85.00	70.00	76.25	63.75	62.50
企画提案 (60点×5人)	175.00	197.50	245.00	203.75	165.00	215.00
価格評価 (10点×5人)	30.00	27.50	30.00	30.00	27.50	32.50
合計 (90点×5人)	247.50	310.00	345.00	310.00	256.25	310.00
第1位獲得数	0	2	2	0	0	1
順位	第6位	第2位	第1位	第4位	第5位	第3位

※一次審査は、審査項目のうち、プレゼンテーションに係る審査項目を除くため、審査委員1人の評価点の計（満点）は90点。

### 2. 二次審査（プレゼンテーション審査）

一次審査を通過した上位5事業者に対して、二次審査（プレゼンテーション審査）を行い、最も多く第1位の順位を獲得した事業者を当該委託の受託候補者として特定した。第2位以下については第1位の順位獲得数、第2位の順位獲得数の順に順位を決定した。

	B社	F社	D社	C社	E社
第1位獲得数	4	1	0	0	0
第2位獲得数	0	1	3	1	0
評価得点の合計点	392.50	367.50	378.75	330.00	300.00
順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位

## (評価得点の内訳)

審査項目 (配点)	B社	F社	D社	C社	E社
業務実績・実施体制 (20点×5人)	92.50	65.00	78.75	63.75	60.00
企画提案 (70点×5人)	270.00	270.00	267.50	236.25	210.00
価格評価 (10点×5人)	30.00	32.50	32.50	30.00	30.00
合計 (100点×5人)	392.50	367.50	378.75	330.00	300.00

## (審査項目及び評価基準)

審査項目		評価基準	評価点
業務実績 実施体制	業務の実績	公立図書館等の基本構想の策定業務等類似業務を行った実績を評価する。	20
	業務の実施体制	統括責任者及び実務担当者の公立図書館等の基本構想の策定業務等の類似業務の経験、業務履行に向けた適正な人員・業務の実施体制が確保されているか評価する。	
企画提案	業務の実施方針及び留意事項の適正さと提案事項の有用性	未来型図書館のビジョンの作成について、小松市及び小松市立図書館の現状と課題を踏まえた提案となっているか評価する。	70
		未来型図書館の基本方針の作成について、独自の提案や追加の提案がなされているか評価する。	
		市民ワークショップの運営支援について、方法、内容等が妥当であるか評価する。	
		小松市未来型図書館基本構想策定委員会の運営支援について、方法、内容等が妥当であるか評価する。	
	自由なアイデアによる提案の有用性を評価する。		
業務工程の妥当性	業務工程に無理がなく、妥当であるか評価する。		
プレゼンテーション	プレゼンテーションにおいて、業務に取り組む意欲及び、わかりやすく、説得力のある提案であるか評価する。		
価格評価	価格の妥当性	企画提案書と見積内容の整合性が取れており、価格が妥当なものであるか評価する。	10
合 計			100

(審査委員からの評価コメント：二次審査)

	審査項目	主な評価内容
B社	業務実績 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務実績について、図書館関連施設の基本構想策定等実績が豊富である。</li> <li>○統括責任者について、図書館建築に関する経験や図書館の企画に特化した経験が豊富である。</li> <li>○業務実施体制について、デザインやメディア芸術等の実務経験者や司書・博物館学芸員資格所有者等多様なメンバーで構成されている。</li> </ul>
	企画提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小松市立図書館の現状と課題について、認識が的確である。</li> <li>○業務実施方針及び留意すべき事項について、「ともにつくる図書館をつくる」理念が強調され、未来型図書館の検討のこれまでの取り組みとのつながり、検証、発見、共有を重視している。共創、持続可能な視点のもと社会が変わりゆく中で柔軟に対応する考え方がよい。</li> <li>○機能・サービス内容の考え方について、人々の知る自由や多様性、まち全体に開かれた施設としている。</li> <li>○市民ワークショップの支援について、ともにつくるワークショップを打ち出し、本(冊子)づくりや手描き地図を作成するというアイデアがよい。参加者が自分事として参加でき、参加していない人も共感できる取り組みである。本づくりは構想策定後も追加していける点がよい。市民とのワークショップの中で創り上げる方策は評価できる。</li> <li>○基本構想策定委員会の支援について、これまでの取り組み、ワークショップとの相互作用やプロセスの共有を図るとしている。</li> <li>○その他自由なアイデアによる提案について、共創のための対話と活動のプラットフォームの形成を掲げている。将来にわたり市民と図書館がつながっていけると感じる。図書館づくりから発展できるのが理想である。</li> <li>○業務工程について、策定委員会やワークショップなどの時期が効果的に設定されている。</li> <li>○プレゼンテーションについて、わかりやすい説明と質問に対する回答が的確である。専門性を強く感じる。</li> </ul>
F社	業務実績 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務実績について、図書館に関する実績が少ない。</li> <li>○統括責任者について、事業手法や事業整備資金確保などの知識が深いと感じられる。</li> </ul>
	企画提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小松市立図書館の現状と課題について、簡潔にまとめられていてよい。</li> <li>○業務実施方針及び留意すべき事項について、未来型のイメージを柔軟に考えている。社会情勢の変化により追加・充実させる機能を整理している。学校図書館との連携や民間活力導入、従来型・官民連携型の2通りの事業推進スケジュールを検討・提案するとしている。</li> <li>○機能・サービス内容の考え方について、未来型図書館のコンセプトがよい。課題解決支援機能、情報交流拠点機能、アウトリーチサービスの拡充(図書館カウンターのサテライト化)を掲げている。課題解決支援カウンターなど発想が面白い。アウトリーチサービスの拡充が重要であることが分かってよかった。機械と人との共創の考え方がよい。</li> <li>○市民ワークショップの支援について、全世代に参加を呼びかける広報の工夫や、スケジュール・役割分担などを具体的に提案している。</li> <li>○その他自由なアイデアによる提案について、事業整備・運営資金確保の手法のほか、本質的な機能の拡充として、ブックカバー製作体験、民間商品の試行、読書通帳機を活用したブックランキングなどを掲げている</li> <li>○プレゼンテーションについて、コンセプトがしっかり伝わる理解しやすい説明である。図書館とは別の角度からの専門性がよく伝わった。</li> </ul>

D社	業務実績 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務実績について、図書館関連施設の基本構想策定等実績が豊富である。</li> <li>○業務実施体制について、県内に事業拠点があり、司書資格を有する人材の配置により、円滑な業務推進を掲げている。</li> </ul>
	企画提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務実施方針及び留意すべき事項について、市民のウェルビーイングに貢献する未来型図書館という考え方はよい。基本方針に掲げるデジタルと人間らしさの両立のフレーズがよい。交流促進コーディネーターの育成、新刊本販売との連携、民間活力の活用などを掲げている。「知」のあり方、アプローチの仕方の説明が分かりやすかった。</li> <li>○機能・サービス内容の考え方について、掲げた項目はよくできている。</li> <li>○市民ワークショップの支援について、図書館職員や地域のボランティア、書店員を参加させるとしている。対象を誰とするかではなく、何をすることも少し聞きたかった。ワークショップの役割が分かりにくかった。メンバーが毎回変わる点については不安がある。</li> <li>○その他自由なアイデアによる提案について、PR動画作成やデータベースを活用したマーケティングノウハウを活用するとしている。</li> <li>○プレゼンテーションについて、業務全体をよく理解し説明を行っている。</li> </ul>
C社	業務実績 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務実績について、少し不十分である。図書館でも分野が狭い。</li> <li>○業務実施体制について、統括責任者、担当者、補助担当者全員が基本構想策定業務等の経験を有している。グループ会社が入ることで業務運営が上手くいくのではないか。</li> </ul>
	企画提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小松市立図書館の現状と課題について、市の調査研究報告書や主要施策と照らして具体的に把握し、事例を広く収集している。分析がしっかりとされている。</li> <li>○業務実施方針及び留意すべき事項について、市のまちづくりの方向性に合わせて、種々の観点から他県の事例とともに詳細に提案されている。まちづくりに持続的に寄与する図書館像を描くとしている。小松市都市デザインの5つの視点と10の都市像に未来型図書館のビジョンを重ね合わせ具体的に示している点がよい。</li> <li>○機能・サービス内容の考え方について、職員の育成や働きやすさを考慮するとしている。</li> <li>○市民ワークショップの支援について、外部有識者をファシリテーターとして招聘し安定した運営を支援するとしている。市民の関わり方をもう少し具体的に知りたかった。位置付けが不明確である。</li> <li>○基本構想策定委員会の支援について、学識経験者など専門家の選定支援などを挙げている。</li> <li>○その他自由なアイデアによる提案について、わくわくする体験として、ARの体験や、未来型図書館づくりの機運を高める創造的活動(3Dデータ作成)体験、市民ニーズ把握のための非来館型サービス体験を掲げている。</li> <li>○プレゼンテーションについて、未来型に関する考え方やアプローチの仕方の質問に対する回答が曖昧で分かりにくかった。</li> </ul>
E社	業務実績 実施体制	
	企画提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務実施方針及び留意すべき事項について、バックカスティングの思考方法を掲げている。</li> <li>○市民ワークショップの支援について、図書館司書や職員、スキルのある市民に進行を任せるとしている。個の意見が創発する考え方はよいが、どのようにファシリテートするかが重要である。</li> <li>○その他自由なアイデアによる提案について、各種団体へのヒアリングや他の公共施設との融合化を提案している。仮想図書館は運用面での不安はあるがアイデアはよい。</li> <li>○業務工程について、早い時期でビジョンを作成することとなっているが実際に可能か疑問である。</li> </ul>